

## 子どもの読書離れ

本市においても下表のとおり、年齢が高くなるにつれ読書離れが進む傾向にあります。

### 一日に読書を全くしない率

	小学6年生	中学3年生
全国	18.7%	34.8%
岐阜県	17.1%	34.8%
土岐市	21.6%	43.2%

出典：平成30年度 学力状況調査

### 人口1人当たりの年間貸出冊数

4.45冊

県内で公立図書館を有する34市町  
中21位

※1位は安八町の12.48冊

### 東濃5市の比較

市名	貸出冊数
多治見市	7.40冊
恵那市	6.43冊
瑞浪市	5.35冊
土岐市	4.45冊
中津川市	3.84冊

令和元年度岐阜県内公共図書館・町村図書室  
調査集計表より

## 読書と学力

天才子役として名をとどろかせ、学業では偏差値70超えの超難関中学校に進学した女優の芦田愛菜さんは大の読書好きで、6歳の時に受けたインタビューの中で、絵本を月60冊くらい読んでいます。読書と学習には関係があるのでしょうか。

静岡大学が発表した「読書活動と学力・学習状況の関係に関する調査研究」によると、読書好きであるかどうかは教科の学力のさまざまな部分と強い関連があるとのこと。また、長時間の読書は必ずしも学力の高さには結びつくものではなく、教科の学力が高い子ほど習慣的に1日1時間程度の短時間の読書をしている傾向にあるそうです。



10月27日から11月9日は読書週間です。秋の夜長に、読んでみたかった小説を読む、趣味を始めるために入門書を読む、また、お子さんに絵本の読み聞かせをする。読書を通して、自分のための時間を楽しく過ごしてみよう。

読書週間に機に、読書の習慣をつけてみませんか？

## 読書週間に読書の習慣を

読書離れが進む昨今ですが、子どもの読書量は30年前に比べて約3分の1にまで減少し、通信ゲームやYouTubeなどの時間に費やされていると言われています。

(学研総合研究所「小学生白書2019」より)

読書活動は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、自分なりに考えて理解する経験を積むには欠くことができないものです。発達段階に応じて読書の内容・質を高め、読書習慣を身につけられるような働きかけを行う必要があるのではないのでしょうか。

子どもたちにとって、忘れられない本との出会いの機会を作ってあげたいものです。

## 読書の魅力

近藤サト



### プロフィール

土岐市出身。日本大学藝術学部放送学科卒業後、1991年フジテレビにアナウンサーとして入社。フリーランスに転身後は、情報、バラエティ番組のナレーションを中心に活躍。また、母校の日本大学藝術学部の特任教授も務める

「本をたくさん読む人」は勉強が良くて物知りな人が多いですよ。確かに。でも私は本は好きですが、たくさんと言えほど読んでいませんから勉強もそこそこで、物知りでもないと思います。そんな私が、今は本やニュースなど活字を読むことでお給料をもらい、大学では「読む」ことを教えています。では「読書とは何か」考えてみましょう。

私が、本というより活字で書かれた文章が好きになったきっかけは、泉小4年生の頃に国語の教科書で今西祐行さんの『一つの花』を習ったことでした。

授業で何度も読むうち、お父さんとゆみ子の感情が現実のように迫り、コスモスの咲く風景がはつきりと見えたのです。声に出して読むと胸が押しつぶされそうになりました。すると先生が私の音読を非常に褒めてくれたのです。よほど気に入られたのか、他のクラスの国語の時間にまで出張して音読をさせられました。当時は、自分は音読がうまいんだと単純に嬉しかったのですが、今思えば、先生は物語に心の深い場所で共感した私を祝福してくれたのかもしれない。事実、『一つの花』との出会いは今の私の仕事に結びつきました。もし時間が戻るなら、私自身が聞いてみたいものです。

このようにたった一度きりの衝撃的な「本」との出会いが人生を大きく変えることがあります。本は人生の宝物になります。読書は宝探し。でも自分だけの宝物はそう簡単には見つからないもの。私はあまり好きじゃないなと思う本は、途中で著者に心の中で手を合わせて読むのを止めてしまいます。時間ももったいないですから。今住んでいる家のすぐ近くに200万冊以上の蔵書がある公立図書館があります。一生生きたくらいでは全く読みきれないことが切なくもあり、人類の宝は果てしないと思います。

さあ、すぐに読書を始めない！

ホントノ  
出会い

大切にしたい



読み聞かせボランティアの皆さん

読み聞かせをとおして  
言葉が育ち  
心が育ち  
子どもとともに親も育つ



図書館では毎週土曜日の午後にはボランティアの皆さんによる読み聞かせの会を開催しています。皆さんぜひ参加して、読み聞かせの楽しさを体験してみませんか。子どもたちのリクエストにもお答えします。

### 読書のできる環境づくり

ある日の夕食時に昔の読書のことが話題になり、4人の孫たちが好きだった本の題名や内容、印象に残る言葉まで覚えていて、大いに盛り上がりました。我が家はみんなが図書館をよく利用し、いつも20~30冊の本を借りています。

そんな中、最近あまり本を読まなくなった14歳の孫は「昔はゲームやヒカキンが無かったからね」と言って笑っていました。時代の流れとはいえ、寂しい気が…。それでも8歳の孫は、ゲームの合間や、寝る前に本を読んで寝ます。

身近な場所、目に付きやすい所に本を置き、小さな子には折に触れ、読み聞かせをしてあげたいものです。私も孫たちが通う小学校で読み聞かせのボランティアをしています。目をキラキラさせて聞いている子どもたちは、間違いなく本が大好きです。いろんな工夫をして、読書のできる環境を作ってあげることが、大人の役割かもしれません。



泉町 原田さつきさん

泉町 原田さつきさん



肥田町 周防さん一家

### 家族そろって読み聞かせ

わが家は、よく図書館を利用します。図書館にはいろんな本があり、子どもたちは館内の本棚を回り、本選びに夢中になります。そんな姿を見ていると、なんだか心が和やかになります。毎週土曜日の午後には開催される読み聞かせでは、ボランティアの方々が子どもたちにわかりやすく絵本を読んでもくれるだけでなく、子どもたちのリクエストした絵本も読んでくれます。今では図書館に来るとボランティアの方々の読み聞かせをお手本に、自分たちで子どもに読み聞かせができるようになってきました。

### 読み聞かせの大切さ

乳幼児期は、言葉や心が育つ大切な時期で、特に3歳から6歳くらいは、好奇心旺盛で、感受性豊かな時期で、「絵本の読み聞かせ黄金期」ともいわれています。この時期に読み聞かせをすることで、親は子どもたちの心の中に心を豊かにする種をまきましよう。やがてその種から芽が出て、その芽はやがて花を咲かせ、実をつけることでしょう。



赤ちゃんに  
本との出会い  
届けたい



※現在は新型コロナウイルス感染防止のため読み聞かせは行っていません。

ブックスタート  
赤ちゃんとは絵本との出会いは、親が絵本を介して、きつと温かく、穏やかに、やさしい赤ちゃんとの触れ合いの時間を作り出します。抱っここの温もりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさをすべての赤ちゃんに届けたい。そんな思いで、市では4か月健診の際に、ブックスタート・パックをプレゼントしています。お父さん、お母さん、赤ちゃんと一緒に絵本との出会いを楽しんでください。

3歳児健診を受けられるみなさんへ  
ぶっくんノートで  
本を読もう!

ポイントが  
貯まったら  
絵本を  
プレゼント

図書館では、今年度から本に親しみきっかけとなることを願い、保健センターで行われる3歳児健診時に「ぶっくんノート」を1部お配りしています。ノートに読んだ日付と本の名前や、参加した図書館のイベント名の記入欄があり、欄を埋めるごとに1ポイント獲得します。30ポイント貯まったら、ぶっくんノートを市図書館に持ってきてください。絵本を1冊プレゼントします。絵本は数種類用意した中から選んでいただけます。本や図書館を楽しむ際に「ぶっくんノート」をぜひご活用ください。



### ブックスタート・パック

ブックスタートでは、すべての親子に絵本を介して心触れ合うひとときを届けます。その具体的なきっかけとして家庭でもすぐに読めるように、絵本が2冊入ったブックスタート・パックを手渡します。

絵本の他にも、赤ちゃんとは絵本とのことについてのアドバイスが書いてあるガイドブックや、図書館からのお知らせ、それらを入れる手提げバッグは、図書館で借りた本を入れるのに便利です。



ご利用ください

### 図書館公式Twitter @toki\_lib

毎日3冊の本をその日のテーマに合わせて紹介する「日替わり定食」のほか、休館情報、学習室の空き状況をツイートしています。皆さんのフォローを待っています。

### 図書館読み聞かせチャンネル

図書館ではご自宅でも土岐市の昔話などの絵本の読み聞かせや紙芝居の動画を楽しめる「図書館読み聞かせチャンネル」を配信しています。

土岐市ホームページ・トップページの「土岐市公式You Tube みんなで 見よう！学ぼう！楽しもう！」をクリックしてください。



### 喜ばれ、必要とされる図書館

「図書館は人生の応援施設である」という言葉があります。人は誰しも、人生を送る上でいろいろな課題と向き合うときがあります。そんなときに図書館が応援できれば、と思っています。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、しばらく休館を余儀なくされました。本の貸し出しがされないことで大変寂しい思いをされた方も多かったことでしょう。あらためて図書館は多くの方に来館いただき、たくさんの本を借りていただく所だと思いました。

今は徐々に規制も解除し、利用いただいています。皆さんに安心して来館いただき、喜ばれ、必要とされる図書館を目指していきますので、是非ご来館ください。



土岐市図書館  
西部浩司 館長



# 図書館に みんな おいでよ



### 楽しい講座が いっぱい

絵本作家によるワークショップや製本・修理講座などを行っています。昨年のワークショップでは絵本作家と一緒にだるまを作りました。製本講座では御朱印帳や和とじの本などを作りました。

「図書館でクラシック音楽を」を開催しています。宗次ホールから演奏家をお招きし、館内で弦楽四重奏によるクラシックの演奏会を行っています。図書館に親んでいただくため、いつもと違った趣の図書館を感じていただきました。

### こんなことも やっています



「図書館ってどんなところ?」、「本はどうやって探すの?」隊員となった子どもたちが図書館のいろんなことを発見していく「図書館たんけん」。図書館について、本について、司書の仕事について興味をもってもらえる嬉しいです。

### 図書館を 探検しちゃいます



### 読み聞かせ してみませんか?

ボランティアさん達が中心となって行う「読み聞かせフェスティバル」や、生の英語やその文化に親しんでもらうためALTによる英語の読み聞かせを開催しています。また、これから読み聞かせを始めようと思っている方や、読み聞かせについての疑問や悩みのある方向けの講座を開催しています。



## 図書館には

## 面白い企画もいっぱい!

みなさんが図書館に対して持っているイメージは、本を読む所、本を借りる所、静かに本を読む所で、少し笑っただけでも注意されてしまいそうと思っている人が多いのではないのでしょうか。

親子で一緒に絵本を読む家族、夢中で好みの本を探す人、学習室で必死に受験勉強をする学生。図書館は人と本が出会う場所。と同時に、本をキーワードにいろいろな人が集う場所なのです。

図書館では、単に本を読むための場所ではなく、皆さんが本を通じて気軽にコミュニケーションを取れる場所になれることを目指していろいろな講座やイベントを行っています。